



2020年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月10日

上場会社名 株式会社 ワイズテーブルコーポレーション
 コード番号 2798 URL <http://www.ystable.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼 社長 (氏名) 金山 精三郎

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 (氏名) 池本 いつか

TEL 03-5412-0065

四半期報告書提出予定日 2020年1月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第3四半期の連結業績(2019年3月1日～2019年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第3四半期	10,324	0.2	87		178		131	
2019年2月期第3四半期	10,307	0.9	91		26		140	

(注) 包括利益 2020年2月期第3四半期 131百万円 (%) 2019年2月期第3四半期 159百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第3四半期	49.41	
2019年2月期第3四半期	52.86	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年2月期第3四半期	4,958	606	11.6	216.81
2019年2月期	4,571	477	9.7	167.40

(参考) 自己資本 2020年2月期第3四半期 576百万円 2019年2月期 445百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期		0.00		0.00	0.00
2020年2月期		0.00			
2020年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年2月期の連結業績予想(2019年3月1日～2020年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,730	0.3	164		289		182		68.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年2月期3Q	2,660,900 株	2019年2月期	2,660,900 株
期末自己株式数	2020年2月期3Q	145 株	2019年2月期	145 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年2月期3Q	2,660,755 株	2019年2月期3Q	2,660,755 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気の緩やかな回復基調が続いている一方で、米中の通商問題の動向が世界経済に与える影響など、先行きの不透明感が拭えない状況が続いております。消費者の対外的な支出に対する低価格志向は依然として根強く、消費税率引き上げによる影響も引き続き懸念されます。

外食産業においては、原材料価格や物流コストの上昇、継続的な人材関連コストの上昇、消費志向やライフスタイルの変化などの影響から、引き続き厳しい事業環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは、前連結会計年度に引き続き、既存店の販売強化、店舗管理体制の見直し、全社的なコストの見直しを推進してまいりました。当第3四半期連結累計期間におきましては、XEXグループ及びカジュアルレストラングループの既存店が堅調に推移したことに加えて、管理部門等のコスト削減効果が現れてきたことから、売上高は10,324百万円(前年同期比0.2%増加)、営業利益は87百万円(前年同期は営業損失91百万円)、経常利益は178百万円(前年同期比575.1%増加)となりました。なお、新株予約権戻入益2百万円の計上等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は131百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失140百万円)となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの状況は次の通りです。

①XEXグループ

「XEX」をはじめとする高級レストラン事業であるXEXグループについては、インバウンド需要への対応強化や継続的な販売強化を推進するとともに、人材の登用を積極的に行った結果、既存店の売上は概ね好調に推移しました。2019年3月には、大規模改装により一時休業していた「The Kitchen Salvatore Cuomo NAGOYA」をリオープンし、同年10月には、レストラン「BISTRO J_0」の飲食サービスを運営受託いたしました。新たな収益機会の増加や運営コストの削減により、収益性を大きく伸ばすことができました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の同グループの売上高は3,316百万円(前年同期比6.8%増加)、営業利益は246百万円(前年同期比94.9%増加)となりました。また、店舗数は直営店8店舗となりました。

②カジュアルレストラングループ

カジュアルレストラングループについては、新たな出店はなく、既存店におけるサービスと料理の品質向上に注力したことにより、既存店の売上高及び営業利益が堅調に推移した一方で、低調に推移しているフランチャイズ事業の業績改善、人材関連コストの管理強化が課題となっています。また、2019年6月から11月において、直営店「PIZZA SALVATORE CUOMO 聖蹟桜ヶ丘」等2店舗、韓国におけるFC店「PIZZASALVATORE CUOMO 明洞」等5店舗を、運営店舗の選択と集中の目的で閉店いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の同グループの売上高は6,999百万円(前年同期比2.7%減少)、営業利益は665百万円(前年同期比4.8%増加)となりました。また、店舗数は直営店44店舗、FC店42店舗となりました。

③その他

その他は、食料品等の卸売、小売事業、人材派遣事業及び不動産賃貸事業等により構成されております。人材派遣事業の立ち上げコストが前期と比較して増加したことから、当第3四半期連結累計期間の同グループの売上高は9百万円(前年同期比7.9%減少)、営業損失は29百万円(前年同期は営業損失22百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,993百万円となり、前連結会計年度末に比べ98百万円増加いたしました。これは主として、現金及び預金の減少89百万円、売掛金の増加192百万円等によるものです。固定資産は2,965百万円となり、前連結会計年度末に比べ288百万円増加いたしました。これは主として、建物及び構築物の減少98百万円、リース資産の増加119百万円、のれんの減少32百万円、長期貸付金の増加340百万円等によるものです。

この結果、総資産は4,958百万円となり、前連結会計年度末に比べ387百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は2,382百万円となり、前連結会計年度末に比べ246百万円増加いたしました。これは主として、買掛金の増加95百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少25百万円、未払金の増加67百万円、未払法人税等の増加58百万円等によるものです。固定負債は1,969百万円となり、前連結会計年度末に比べ10百万円増加いたしました。これは主として、長期借入金の減少102百万円、その他の増加107百万円等によるものです。

この結果、負債合計は4,351百万円となり、前連結会計年度末に比べ257百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は606百万円となり、前連結会計年度末に比べ129百万円増加いたしました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上131百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は11.6%(前連結会計年度末は9.7%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2019年4月19日の「2019年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	963,326	873,836
売掛金	589,970	781,971
原材料及び貯蔵品	193,161	182,559
その他	148,853	155,372
貸倒引当金	△554	△596
流動資産合計	1,894,757	1,993,143
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,510,395	1,411,779
工具、器具及び備品(純額)	128,449	112,736
リース資産(純額)	49,724	169,701
建設仮勘定	30,444	2,576
その他(純額)	37,327	36,882
有形固定資産合計	1,756,341	1,733,675
無形固定資産		
のれん	53,534	21,413
その他	34,003	28,579
無形固定資産合計	87,537	49,993
投資その他の資産		
投資有価証券	49,273	45,710
長期貸付金	78,605	419,531
敷金及び保証金	653,043	649,466
繰延税金資産	44,009	56,389
その他	9,726	12,006
貸倒引当金	△1,817	△1,448
投資その他の資産合計	832,841	1,181,656
固定資産合計	2,676,720	2,965,325
資産合計	4,571,478	4,958,469
負債の部		
流動負債		
買掛金	548,333	644,095
1年内返済予定の長期借入金	530,296	504,808
未払金	661,282	728,308
未払法人税等	31,480	89,826
ポイント引当金	22,249	23,783
株主優待引当金	65,357	39,167
その他	276,192	351,977
流動負債合計	2,135,191	2,381,966
固定負債		
長期借入金	978,724	876,451
資産除去債務	831,591	835,772
長期前受収益	16,186	17,686
その他	132,342	239,683
固定負債合計	1,958,845	1,969,593
負債合計	4,094,036	4,351,560

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	830,375	830,375
資本剰余金	900,653	900,653
利益剰余金	△1,285,289	△1,153,831
自己株式	△362	△362
株主資本合計	445,376	576,834
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39	50
その他の包括利益累計額合計	39	50
新株予約権	32,025	30,024
純資産合計	477,441	606,908
負債純資産合計	4,571,478	4,958,469

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)
売上高	10,307,836	10,324,699
売上原価	8,516,991	8,354,216
売上総利益	1,790,845	1,970,483
販売費及び一般管理費	1,882,443	1,882,893
営業利益又は営業損失(△)	△91,598	87,589
営業外収益		
受取利息	154	2,532
為替差益	8,543	—
協賛金収入	93,769	74,255
その他	33,266	32,847
営業外収益合計	135,734	109,636
営業外費用		
支払利息	13,550	11,195
為替差損	—	215
持分法による投資損失	1,043	3,578
その他	3,064	3,505
営業外費用合計	17,658	18,495
経常利益	26,476	178,730
特別利益		
新株予約権戻入益	—	2,001
特別利益合計	—	2,001
特別損失		
減損損失	※1 37,219	—
固定資産除却損	36,828	—
特別損失合計	74,047	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△47,570	180,731
法人税、住民税及び事業税	24,406	61,657
法人税等調整額	76,548	△12,384
法人税等合計	100,954	49,273
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△148,525	131,458
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7,869	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△140,655	131,458

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△148,525	131,458
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21	10
為替換算調整勘定	△10,907	—
その他の包括利益合計	△10,928	10
四半期包括利益	△159,453	131,469
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△151,522	131,469
非支配株主に係る四半期包括利益	△7,931	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	XEX グループ	カジュアル レストラン グループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,104,149	7,193,605	10,297,754	10,082	10,307,836	—	10,307,836
セグメント間の内部売上高又は振替高	31	4,438	4,470	329,538	334,008	△334,008	—
計	3,104,181	7,198,043	10,302,224	339,620	10,641,844	△334,008	10,307,836
セグメント利益 又は損失(△)	126,690	634,888	761,578	△22,461	739,117	△830,715	△91,598

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、食料品等の卸売、小売事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△830,715千円には、セグメント間取引消去額3,050千円、各セグメントに配分していない全社費用△833,765千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間に、「カジュアルレストラングループ」セグメントにおいて22,802千円、共用資産である事業所設備について14,417千円の減損損失を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	XEX グループ	カジュアル レストラン グループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,316,330	6,999,084	10,315,415	9,284	10,324,699	—	10,324,699
セグメント間の内部売上高又は振替高	80	—	80	274,325	274,405	△274,405	—
計	3,316,411	6,999,084	10,315,496	283,609	10,599,105	△274,405	10,324,699
セグメント利益 又は損失(△)	246,907	665,579	912,487	△29,898	882,588	△794,998	87,589

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、食料品等の卸売、小売事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△794,998千円には、セグメント間取引消去額1,694千円、各セグメントに配分していない全社費用△796,693千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。